# 園だより

## 栗橋保育園


11 月 号

平成30年11月1日発行
発行責任者
社会福祉法人こうゆう会
理事長 竹下成子


## 今月のくらし

ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの曇

大気は澄んで青空はどこまでも深く、信綱の名歌がしみじみと思い出されるこの頃です。

秋晴れが続いて裏庭の唐楓や欅も紅葉がはじまりました。

先月は運動会が行なわれました。天気が心配ではらはら致しましたが、見事に晴れて子どもたちの努力がすべて報われる運動会になりました。当日の充実感はもちろん運動会に至るまでの練習や準備を通して友情も一段と親しく深まりました。お庭で遊んでいる子供たちの表情はほっとして自信にあふれていてこのところ一段と成長したことが伺えます。

さくら組のお友達は、静御前まつりや、地元の翔裕園様のお年寄りへの慰問など、多くの栗橋太鼓を披露する機会に恵まれました。どの子もオドオドする様子もなく、胸を張って頼もしい姿で演奏してくれました。やがてくるランドセル姿を早くも想像させてくれるほど、自信に満ちた姿でした。

今月も日一日と深まる秋の自然のなかでそんな子供たちとのびのびと楽しい保育園の暮らしを営みたいと思います。

寒さに向かう季節です。毎日のマラソンや散歩など寒さに負けない体力作りを行います。また、風邪の予防を徹底します。手洗いうがいなどを丁寧に指導して基本的な生活習慣を身につけさせたいと思います。

### ●秋祭り

猛暑の為、中止したサマプレに変わり、七日（水）は秋祭りを行います。夏祭りとは一味違う遊びを計画しています。全員の子どもたちで楽しみたいと思います。おうちの方もご都合のつく方はぜひお越しください。子どもたちと一緒に秋祭りを楽しみましょう。

### ●親子遠足

九日（金）は親子遠足です。行き先は宇都宮動物園。親子で、お友だち同士で、クラスで楽しく過ごしたいと思います。詳細のお手紙が配布されましたら、ご確認をお願いします。

### ●お願い

秋祭りはすみれ組からさくら組の縦割りグループで行動します。秋祭りの時にはすっかり仲良しさんになって欲しいと、朝の自由あそびの時間を使って縦割りグループで遊んでいます。登園する際にはお子さんのグループのお部屋にお連れください。

## 11 月の予定

2日（金）日舞
3日（土）文化の日
7日（水）秋祭り
9日（金）親子遠足
（宇都宮動物園）
13日（火）英語・科学
・日舞
14日（水）県民の日
15日（木）七五三
・和太鼓指導
16日（金）日舞
23日（金）勤労感謝の日
27日（火）英語・科学
28日（水）お誕生日会

## ●今月のつぶやき

### その一　～さくら組～

翔裕園へ向かう散歩道でのこと。田んぼ道を歩いていると、刈り終わった田んぼで荒ぬかを燃やした跡がある。こんもりと盛られた荒ぬかの真ん中は燃やされて黒く焦げている。その様子を見てYくんの一言「オムライスみたい！」

※薄い黄色のぬかと焦げた黒の配色からオムライスを連想するとは、なんとも子どもらしい発想だと感心しました。

### その二　～分園たんぽぽ組～

お友だちと手をつないで散歩している時のRくんと先生の会話

保）「お花がきれいだね。」「何色のお花があるかな～？」

R）「あか！それとむらさき～！」

保）「むらさきがわかるの？すごいね～」

R）「さいた～♪さいた～♪」と両手でお花の形を作って歌いだす。

機嫌よく歌っていたその時、ハッ！と何かに気づいた様子。両手でお花を作っていたら、お友だちの手を離してしまっていたことに気付き、歌うのをやめてお友だちと手をつないでくれました。

※可愛らしさの中にハッと我に返る子どもの姿に思わず笑ってしまいましたが、よく自分で気付いたなぁと感心しました。

# 先月のくらし

## ●脱穀・もみとり

豊作だった今年の稲。九月に刈り取り天日に干していました。九日（火）は『脱穀』をさくら組が体験しました。ペットボトルのふたで稲を削ぎ、パラパラな状態にするという簡単な作業ですが、根気のいる作業でもあります。手先を使うことを得意とするさくら組。パラパラと離れていく様が面白いようで、じっくりと取り組んでいました。パラパラになったものは、そのまた次の工程『もみとり』へと移ります。すり鉢にもみ殻を入れ、すりこ木でゴリゴリ。一人十回ずつゴリ擦ると、殻が取れたお米が数粒でてきました。「お米が出てきたよ～！」それが嬉しかったようで、まだゴリゴリゴリゴリ…。交代しながら続けました。脱穀したお米は二十九日（月）収穫祭でおにぎりを作って食べようと思います。

## ●翔裕園慰問

栗橋ナーシングホーム翔裕園さんから、保育園の子どもたちと交流したいとのお誘いを受け、十八日（木）さくら組が慰問に行ってきました。さくら組といえば和太鼓！曲太鼓と栗橋太鼓の二曲を披露させていただきました。初めての場所で知らないおじいちゃんおばあちゃんが観ている中での演奏だったので、少し緊張している様子の子どもたちも、お年寄りから大きな拍手をいただき緊張が解けたようです。コツコツと折って作ったメダルを一人一人のお年寄りの首にかけてプレゼントし、『とんぼのめがね』『どんぐりころころ』『まつぼっくり』両世代が歌える童謡を一緒に歌いました。涙を流しながら喜んでいらっしゃるお年寄りの方もいて、世代を越えた交流が子どもたちにも良い体験となりました。

## ●内科検診

二十五日（木）園医の蒲池医師による今年度二回目の内科検診を行いました。お休みが少なくほとんどの子どもが受診できました。特に大きな病気もなく、良好とおっしゃっていただけたので一安心です。再受診のお手紙をいただいた方は、早めの受診をお願いします。

## ●いもほり

五月の終わりに植えたサツマイモの苗。根を張り大きく伸びたサツマイモが土の中で収穫時期を迎えてツルがぐんぐんと伸び、ツルをつかんでいもを掘り出すのも楽しかったようです。「金時」「マロ」「ごいも」「サツマイモ」「ハロウィンパープル」と、たくさんの種類のサツマイモを見てきました。「ツルがこんなに長くなったよ！」「ビッグ様！」「ハロウィンパープルは、ツルが紫色だ！」と、収穫した苗を二十六日（月）に植え直しました。

## ●収穫祭

お米、野菜、サツマイモ、今年もたくさんの恵みがありました。みんなで育てて収穫したサツマイモやお米は、二十九日（月）収穫祭としてさくら組がクッキングをしました。お米は炊いておにぎりに、サツマイモは蒸かしてスイートポテトに。そして『いただきます』日頃何気なく使っている食事の前のご挨拶ですが、この言葉の意味を知っているのは案外大人でも少ないと思います。『命のお話』に子どもたちは耳を傾けじっくりと聞いていました。おにぎりは手の平にいっぱい米粒をつけながら、丸くしようと一生懸命に握ってきた子どもたちです。手で掘り始めると、サツマイモの頭がニョキッ！「サツマイモが出てきたよ～！」感動と興奮の瞬間です。大きいシャベルで少しお手伝いしてあげると、ところどころに眠っていたサツマイモがゴロゴロっと出てきます。それを見てまた興奮！深いのスイーツですから美味しいこと間違いなしです。

## ●ハロウィン

園内の一大行事の一つとなってきたハロウィン。年々と衣装も凝り、ちょっとしたハロウィンパーティーになっています。二十九日（月）今年も可愛い衣装に身を包んだ子どもたちが集まり、ハロウィン集会を開きました。可愛い衣装を披露したり、迷路あそびを楽しんだり、最後は「トリックオアトリート！」と唱えてお菓子をもらい楽しい時間を過ごしました。

今年は超ド級の大きさのサツマイモが出てきて大豊作でした。さくら組が掘っているそばで、分園すみれ組もおいもほりに挑戦！さすがさくら組に比べたら体は小さいけれど力は負けていません。採れたサツマイモが顔を出すと大喜び！サツマイモは収穫祭でサツマイモのスイーツを作ります。自然の甘みですから美味しいです。

## ●静御前まつり

ＪＲ栗橋駅の近くに静御前が眠るお墓があります。二十日（土）は静御前を弔う『静御前まつり』が開催され、静御前のパレードなどが行われました。保育園からはさくら組が参加し和太鼓を披露。公の場で全員で叩くのはこれが最後となります。ちょっとした寂しさと舞台で演奏する緊張感とで、本番前練習は音の乱れが気になりましたが、ここは本番に強い子どもたちですからきっと大丈夫！と会場へ向かいました。駅前とあって会場の回りはたくさんの人で賑わっています。さくら組の和太鼓を聴こうと待っている人もいます。そんな大勢の人たちの前でもっと緊張するかな…と見守っていましたが、本番では堂々と自信を持って叩いていました。夏から人前で叩く機会が増え、緊張はあるものの、しっかりと力を出していました。さすがはさくら組！有終の美を飾ることができました。

のりを巻くと立派なおにぎりの完成！スイートポテトは給食の先生に蒸かして潰していただいたので、カップに好きなだけ盛りました。食育を通して、命の尊さや物を大切にする気持ちが育ったように思います。その気持ちはいつまでも消えないで欲しいですね。

# ●運動会

秋晴れに恵まれた十三日（土）六十二回目の運動会が開催されました。久喜市長　梅田修一様を始め、久喜市市議会議長　上条哲弘様、町内各小学校の校長先生方など、たくさんのお客様から声援を受けながら、走る・跳ぶ・力強さ、躍動感のある運動会を行うことができました。乳児部は緩い坂道を登り、上がったところからジャンプで着地！可愛らしさの中に逞しさを見ることができた親子競技『親子でなかよくほっこりはん』すみれ組の親子ダンスも、親子で楽しそうに踊っている姿が微笑ましかったです。幼児部は徒競走からスタート。もも組から年齢が上がるごとに闘争心を強く持って走っていました。もも組のパラバルーン、二十七人の子どもたちが息を合わせてバルーンを操り、上手に表現していました。よさこいソーラン、和太鼓は定番競技として子どもたちが一番楽しみにしている種目です。親子競技は今年も充実！キャタピラレースのもも組。二人の子どもをぶら下げての台風リレー。大きく育った子どもを背負って帽子の獲り合いをする騎馬戦。保護者競技の借り物競走も指令カードにドキドキしながら必死に声をかけて借り物を探していました。うめ組さくら組のサーキット、うめ組は勢いをつけて坂道を上がり、高いところからのジャンプ！さくら組は懸命な練習の成果を出せた逆上がり。そしてほぼ垂直に立てた板をよじ登る板登りは見事でした。大トリの競技はうめ・さくらの『おいぬけおいこせリレー』今年は男の子vs女の子で対戦しました。男の子の方が力がありそうですが、女の子だって負けていません。さくら組は女の子が勝ちました。子どもも大人もみんなで楽しんだ運動会、達成感いっぱいの運動会となったことでしょう。